

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				J-K04	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
コミュニケーション活動Ⅳ			実技・演習		みらい情報科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	60	2	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
球技大会やハイキング、各種展示会の見学、その他行事など、通常の教科の学習を越えた範囲のさまざまな学習活動を行う。校外での集団行動も多く、チームワークなど教室の授業では得られない学習効果が得られる。					
授 業 の 概 要					
各種行事（入学式・始業式・終業式・ハイキング・球技大会や展示会見学など）に科目として行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
各行事への学習意欲で評価する。					学習意欲 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		時間数
1. ボーリング大会			10		
2. ハイキング			10		
3. 企業見学会			10		
4. 防災訓練			2		
5. スポーツフェスティバル			10		
6. 卒業式など			18		
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2026 年度	
時間数は4 5分換算				科目コード		J-K43	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報と職業			講義		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	前期	必修	30	2	山本 香世子		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
情報に係る職業人の在り方について、情報化社会の進展に伴い社会生活に不可欠な ICT という視点から考える。情報社会の特質について学ぶことにより、社会科学の知識を深める。							
授 業 の 概 要							
情報産業社会の特徴を考えるとともに、情報産業には職業があるのかについて理解を深める。さらに、将来情報産業技術者として働くためのキャリア発達とその支援の在り方について理解する。							
成 績 評 価 の 方 法							
レポート（6 0％） 期末試験（4 0％） によって評価する						期末試験	40%
						課 題	60%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 学習計画について 2. 情報の概念 3. 情報化社会の社会変革 4. ITSS 5. 情報化社会について 6. まとめ及び講評			時間数				時間数
			2				
			2				
			8				
			12				
			4				
			2				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		J-K44	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
情報通信工学			演習		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	後期	必修	90	3	窪田 龍吾・塩崎 雅基		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
・機械学習を用いた AI の原理を理解できる。 ・AI を活用した事例から既存学習モデルを用いて独自の AI モデルを構築できる。							
授 業 の 概 要							
機械学習について学び、現在利用が求められている AI について学習する。機械学習に利用できるライブラリが豊富な Python を用いてシステム開発を行う。そのため、Python の学習も並行して行う。							
成 績 評 価 の 方 法							
各授業の終了時に課す課題の提出状況及び学習意欲にて評価する。						課 題	70%
						学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
Web 上の資料を提供する。							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. Python 開発環境のインストール			2	8. 学習用データの選定（オープンデータ）			20
2. Python の学習							
Python の特徴（C 言語や Java と比較）			2	9. オープンデータを用いた機械学習			40
Python の基礎構文			2	演習			
Python ライブラリの活用			2	10. 発表及びまとめ			4
グラフ表示プログラミング			2				
3. 機械学習環境の構築			2				
4. 機械学習について			2				
5. 評価指標について			2				
6. 機械学習ライブラリについて			2				
7. 機械学習ライブラリを用いたプログラミング			8				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2026 年度 J-K45
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
情報理論Ⅲ			演習		みらい情報科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	前期	必修	90	3	山本 香世子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ サーバ+IoT 機器を組み込んだシステムを構築できる。 ・ IoT から得たデータを解析し、特徴を見出すことができる。 ・ 取得したデータを適当な形で可視化し、表現できる。					
授 業 の 概 要					
急速に普及している IoT 機器の構成を理解し、現実には活用できるシステムを構築する。各種センサー+Raspberry Pi+クラウドサーバを連携した IoT システムを構築する。3 年次までに得た知識を元に、データ解析を行い、可視化を行う。					
成 績 評 価 の 方 法					
各授業の終了時に課す課題の提出状況及び学習意欲にて評価する。					課 題 70% 学習意欲 30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
Web 上の資料を提供する。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. IoT 基礎・IoT について		2	9. データの可視化		6
2. データ解析復習		6	10. 各種センサーを用いたデータ収集及び可視化		6
3. RaspberryPi について		2	11. WebAPI と観測データの連携		4
4. RaspberryPi 開発環境の構築		4	12. 課題制作演習		30
5. RaspberryPi とセンサーとの連携プログラム		8	13. まとめ・発表		4
6. スタンドアロンによるデータ収集		6			
7. サーバ開発環境構築		4			
8. RaspberryPi とサーバとの連携システム構築		8			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2026 年度 J-K46
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
応用プログラミングⅣ			演習		みらい情報科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	60	2	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ python を使って機械学習の基礎を学習し、実際に自身で実演できることを目標とする。					
授 業 の 概 要					
python を利用して、機械学習の前処理・学習・性能評価、各種手法、統計の基礎を学ぶ。 機械学習テーマとしてアヤメ判別、映画の興行収入予測、客船沈没事故の生存予測、住宅の価格予測を実践的に習得していく。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業毎に課す課題を評価対象とします。					課 題 70% 学習意欲 30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
Python による機械学習 (インプレス)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. python 基本文法の復習		2	15. 教師なし学習		4
2. AI と機械学習		2	16. クラスタリング		10
3. 統計基礎		2	17. まとめ		2
4. データ分析基礎		2			
5. アヤメの判別		2			
6. 映画の興行収入の予測		4			
7. 客船沈没事故での生存予測		4			
8. 住宅の平均価格の予測		4			
9. 教師あり学習の総合演習		4			
10. 実践的データ前処理		6			
11. 回帰分析		4			
12. 分類		4			
13. 予測性能評価		4			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
				科目コード		J-K47	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
コンピュータシミュレーション概論			演習		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	後期	必修	60	2	前田 恭伸		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
・Linux を通してシミュレーションを実施できる。 ・仮想化した OS を構築できる。 ・LinuC101 試験に合格できる。							
授 業 の 概 要							
Linux を通してコンピュータシミュレーションの基礎を学ぶ。また、Linux 操作に習熟するため演習を通して、AWS の仮想マシン運用方法を学ぶ。							
成 績 評 価 の 方 法							
各授業で実施する小テスト及び期末試験にて評価する。					期末試験	50%	
					課 題	50%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. イントロダクション及び環境構築 2. 数学モデルとシミュレーションの目的と有用性 3. Linux 基礎コマンドの学習 4. ネットワーク 5. DNS サーバの構築 6. Web サーバの構築 7. メールサーバの構築 8. ファイル共有 9. セキュリティ 10. 数学の学習と Scilab/Scicos での表現 11. 線形計画法, 非線形計画法 12. まとめ			時間数	試験対策演習		時間数	
			4			16	
			2				
			4				
			4				
			4				
			4				
			4				
			4				
			4				
			4				
			4				
			2				
その他			関連科目				

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名				学科・コース	
企業会計				みらい情報科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	60	4	松川 麻美
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ファイナンシャルプランナー3級に合格できる。					
授 業 の 概 要					
保険・年金・税金・不動産・相続・株式や預貯金などの金融資産等お金に関する総合知識を学習していきます。					
成 績 評 価 の 方 法					
試験結果および、課題、学習意欲を勘案し総合評価する					期末試験 60% 課 題 30% 学習意欲 10%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
みんなが欲しかった！FPの教科書 3級 (TAC 出版) みんなが欲しかった！FPの問題集 3級 (TAC 出版)					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. ライフプランニングと資金計画			8		
2. リスクマネジメント			6		
3. 金融資産運用			8		
4. タックスプランニング			8		
5. 不動産			6		
6. 相続・事業継承			8		
7. 練習問題・過去問題			16		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		J-K49	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
課題制作演習Ⅱ			演習		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	通年	必修	90	3	永田 正樹・アンドリュー		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
・数値解析を応用し、実データから予測モデルを構築できる。 ・単回帰分析を利用できるようになる。							
授 業 の 概 要							
Excel で表せる範囲のデータを対象に、データ解析の技術を取り入れモデル化する。最終課題として、独自のオープンデータを用いた解析モデルを発表する。							
成 績 評 価 の 方 法							
各授業への学習意欲及び課題発表によって評価する。						課 題	50%
						学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. イントロダクション			9				
2. データ解析について			9				
3. 回帰分析			9				
4. 回帰分析の応用			9				
5. マーコビッツモデル			9				
6. マーコビッツモデルの応用			9				
7. ARMA モデル			9				
8. K-means 法			9				
9. クラスタ分析			9				
10. 発表			9				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		J-K50	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
卒業研究			演習		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	通年	必修	240	8	塩崎 雅基・長谷川 和明 大場 玲子・内藤 健太 窪田 龍吾		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
・ 4 年間学んだ情報処理技術を基盤に、卒業研究テーマへ取り組み、卒業論文を完成させる。 ・ 卒業研究発表時に口述にて自身の研究を説明できる。 ・							
授 業 の 概 要							
各種先行研究から自身の研究テーマを選定し、テーマに沿って研究を進め卒業論文の記述に取り組む。							
成 績 評 価 の 方 法							
卒業論文の提出によって評価する。また、研究への取り組み方による学習意欲も勘案する。						課 題	50%
						学習意欲	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. 卒業研究について			2				
2. 先行研究調査			20				
3. テーマ選定			20				
4. 研究活動			180				
5. 研究発表			8				
6. 論文提出			10				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				J-S12	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
ネットワーク技術 I			講義	みらい情報科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	90	6	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
フーリエ光学の数理とそれに基づく光情報処理の基礎を身に付け、ホログラフィの仕組みを理解できるようになることを目標とする。					
授 業 の 概 要					
本科目では、波動として光を取り扱うのに適した線形工学理論であるフーリエ光学を学び、フーリエ光学に基づいた光情報処理の基礎を学習した後、最終的にホログラフィの仕組みについて学ぶ。					
成 績 評 価 の 方 法					
期末試験（50％）とレポート（50％）にて成績評価を行う。					期末試験 50%
					課 題 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
光とフーリエ変換（朝倉書店）					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		時間数
1. 波動と波動方程式			6	10. フレネル回折	6
2. 球面波、重ね合わせの原理			6	11. コヒーレント結像	6
3. 干渉			6	12. 光学系の周波数応答関数	6
4. 回折			6	13. 空間周波数フィルタリング	6
5. フーリエ級数			6	14. 計算機ホログラム	6
6. フーリエ変換			6	15. デジタルホログラフィ	6
7. コンボリューション積分と相関関数			6		
8. システムと演算子			6		
9. インパルス応答			6		
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		J-S13	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ネットワーク技術Ⅱ			講義		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	後期	必修	90	6	塩崎 雅基		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
今まで学習したデータ分析前処理、データビジュアライゼーション、機械学習などを総合的に理解し、データ分析コンペにおいて、データ分析が実演できることを目標とする							
授 業 の 概 要							
データサイエンスの総合演習として、Signate や kaggle などのデータ分析コンペに参加する。参加コンペは開催中のものを適宜選択していく。							
成 績 評 価 の 方 法							
授業で行う課題（80％）と授業態度（20％）により評価する						課題提出	80％
						学習意欲	20％
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
Kaggle で勝つデータ分析の技術（技術評論社）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. データ分析のための SQL 2. データビジュアライゼーション 3. データ前処理 4. 機械学習 5. データ分析コンペ			時間数				時間数
			4				
			4				
			4				
			4				
			74				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		J-S14	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
ネットワーク技術Ⅲ			講義		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	前期	必修	60	4	塩崎 雅基		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
・デジタル通信に使用する信号を周波数領域と時間領域で表現できる ・代表的なデジタル変調・復調方式について、それらの特徴を図解することができる ・光通信に使われる光ファイバ、光デバイスについて特徴を図解することができる							
授 業 の 概 要							
データ、音声、画像などをデジタル信号により伝送する基本技術の習得を目的とする。最初にデジタル通信に限らず、通信技術の理解には不可欠なフーリエ変換について復習する。次に、デジタル通信の実例としてデジタル変調・復調技術と光ファイバ通信システムについて学ぶ。							
成 績 評 価 の 方 法							
期末試験結果にて判断する						期末試験 100%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 信号解析の基礎となる三角関数によるフーリエ級数 2. 複素フーリエ級数 3. フーリエ変換 4. フーリエ変換の性質 5. 高速フーリエ変換 6. フーリエ変換による信号解析 7. アナログ変調：PCM 8. 位相シフトキーイングの概略 9. 位相シフトキーイングの変調方式			時間数	10. 位相シフトキーイングの復調方式 11. 光ファイバについて 12. 光ファイバ通信の構成 13. 光通信設計 14. 損失制限と分散制限 15. まとめと総復習			時間数
			4				4
			4				4
			4				4
			4				4
			4				4
			4				4
			4				4
			4				4
			4				4
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2026 年度
時間数は45分換算				J-S15	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
技術者の人間学			講義	みらい情報科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	必修	30	2	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
主体的に参加し、自らを見直し、様々な場面において状況を把握しつつ行動できるようになることを目標とします。また、行動が変化することにより、充実感が得られて、成長することを目指します。					
授 業 の 概 要					
技量と人間性は同時に要求されて仕事に活かされます。技術者の能力は専門性が高い一方、同分野以外の人間とのコミュニケーションが苦手な人をよく見かけます。現在では、総合的業務遂行能力が必須であり、専門能力と精神的健全さを両立させてコミュニケーションをとることが重要です。本科目では、自らを振り返り、自然にコミュニケーションができることを様々な事例を取り上げて考えます。					
成 績 評 価 の 方 法					
毎回の簡易発表、2回のレポート提出、最終試験で判断します。				期末試験	50%
				課 題	30%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 技術者と限定した理由		2	1 1. 信念を持ち続ける		2
2. 何のために働くのか?		2	1 2. 近道を通るより苦勞を		2
3. 真っ向勝負		2	1 3. 尊敬できる人がいるか		2
4. 心身ともに健康		2	1 4. 余裕を持つと見えてくる		2
5. 皆、自分がスタンダード		2	1 5. まとめ		2
6. 現在の社会状況		2			
7. 自分の置かれた立場		2			
8. コミュニケーション		2			
9. 情けは人の為ならず		2			
10. 客観的に見たら		2			
その他			関連科目		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード		J-S16	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
外国事情			講義		みらい情報科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
4	後期	必修	30	2	塩崎 雅基		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
・ 英語で日常的な会話ができるようになる。 ・ 海外で英語でのコミュニケーションを取れる。							
授 業 の 概 要							
外国における様々な対応を、実践を通じて学ぶ。授業で学んだケーススタディを、海外（英語圏）を訪れて実践する。							
成 績 評 価 の 方 法							
レポート提出と海外研修に取り組む学習意欲を合わせて評価する。						課 題	40%
						学習意欲	60%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1. イントロダクション			2				
2. 文法の復習1 一般動詞			2				
3. 文法の復習2 名詞・代名詞			2				
4. 文法の復習3 Wh 疑問文			2				
5. 英語での受け答え1 基本の確認			2				
6. 英語での受け答え2 自己紹介			2				
7. 英語での受け答え3 他者紹介			2				
8. 英語での受け答え4 日常会話			2				
9. 海外での実践			14				
その他				関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				J-S17	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
外国語研修			講義、実習		みらい情報科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	後期	必修	30	2	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
自分自身の考えをプレゼンテーション（英語）で表現できる。					
授 業 の 概 要					
授業で身に着けた英語能力を、外国で実際に体験します。自分の考えを英語で表現できるようにします。					
成 績 評 価 の 方 法					
レポートとプレゼンテーションを合わせて評価します。					課 題 40%
					学習意欲 60%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. イントロダクション	時間数	2	7. リスニング練習6 動作動詞聞き取りのコツ	時間数	2
2. リスニング練習1 つながって聞こえる英語の発音	2		8. リスニング練習7 自然なやり取りを聞き取るコツ		2
3. リスニング練習2 強く聞こえる音と弱く聞こえる音	2		9. 海外での実践		14
4. リスニング練習3 l (エル) の音の変化	2				
5. リスニング練習4 t の音の変化	2				
6. リスニング練習5 音の連結 (子音+母音)	2				
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2026 年度
時間数は45分換算					科目コード	J-S28
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
総合演習			演習		みらい情報科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
4	通年	選択	教育実習	2	塩崎 雅基	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
(1) これまでの学びの履歴を振り返り、自らの到達点と課題を明確にし、課題を克服する方途を明確にする。						
(2) 教師としての使命や理想の教育像を説明できる。						
(3) 生徒や学校の状況に応じて、適切な指導を行うことができる。						
(4) 教科の特質に根ざして教材研究を行うとともに、指導技術を駆使して学習指導を行うことができる。						
授 業 の 概 要						
皆さんは、これまで教職科目、専門科目、教育実習、そして課外活動などを通して、多くを学んできました。それぞれの科目や活動単位では、特に印象に残っている内容や反省などがあると思います。教員の仕事は、これを総合的に発揮する必要があります。したがって、これまでの学びを振り返り、統合するとともに、教員になる上での課題を明確にすることがこの授業のねらいです。						
そのため、この授業ではグループによるディスカッションやプレゼンテーションなど、皆さんの能動的な学習を中心に進めていきます。						
成 績 評 価 の 方 法						
ポートフォリオ、レポート（4種類）、指導案、模擬授業、グループディスカッション・発表10%10%					期末試験 課 題	10% 90%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
必要なプリントやワークシートを配付します。						
「教育実習日誌」（初回の授業に必ず持参してください。）						
「教職カルテ」（初回の授業にプリントアウトの上、必ず持参してください。）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1. オリエンテーション			2			
2. 教員として必要な資質・能力についての省察			4			
3. 学級経営・生徒指導の指導力向上			2			
4. 教育実践と教職の課題			6			
5. 生徒理解・教科指導力の向上			6			
6. 教材研究・授業力の向上			8			
7. 教員としての使命感・理想の教育像			2			
その他			関連科目			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2026 年度
時間数は45分換算				J-S29	
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
教育実習指導			講義	みらい情報科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	選択	教育実習	1	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
教育実習生としての役割を理解するとともに、教育実習に取り組む上での姿勢や技能を確認する。 教育実習の振り返りによって、教員になる上での適正を判断するとともに、課題を自覚する。					
授 業 の 概 要					
教育実習の事前の準備および事後の振り返りを行う。教育実習での学びがより豊かになるように、教育実習性としての心構えや基礎的な知識・技能を確認するとともに、教育実習後の振り返りを通して、将来教員になる上での適正や課題を自覚することを目指す。					
成 績 評 価 の 方 法					
プレゼンテーション 40%、レポート 40%、ワークシート等の提出物 20%				期末試験	40%
				課 題	40%
				学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
教育実習を考える会（編）『新編 教育実習の常識——事例に基づく必須 66 項』蒼丘書林、2000 年					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
事前指導		時間数	事後指導		時間数
1. 教育実習の意義		2	7. 教育実習の省察		2
2. 教育実習生の義務		2	8. 課題克服のための方途の検討		2
3. 授業観察の基礎		2			
4. 学級活動・ホームルーム活動の基礎		2			
5. 教科指導の基礎		2			
6. プレゼンテーション		2			
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2026 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
授 業 科 目 名				学 科 ・ コー ス	
教育実習				みらい情報科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
4	通年	選択	教育実習	2	塩崎 雅基
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
本実習では、次の4点を目標とします。 (1) 実習校の生徒および教育活動の特徴について理解する。 (2) 授業を観察し、事実即した記録を行うとともに、自身の指導に役立てることができる。 (3) 学習指導案を作成するとともに、基礎的な指導技術を用いて、授業実践を行うことができる。 (4) 学級担任の役割を理解するとともに、学級経営の補助的な業務を行うことができる。					
授 業 の 概 要					
教育実習は、実習校における観察や参加により、教員になる上での基礎的や知識や技能を身につけ、教職に対する適性について考えるとともに、自らの課題を明確にすることをねらいとしています。					
成 績 評 価 の 方 法					
実習校からの評価に基づき行います。 毎日の実習へのフィードバックは、指導教諭より、口頭や「教育実習日誌」へのコメントなどによって行われます					課 題 100%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
「教育実習日誌」 教育実習を考える会（編）『新編 教育実習の常識——事例に基づく必須66項』蒼丘書林、2000年					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
高等学校にて2週間（約80時間）の教育実習が実施されます。 実際の実習は、各実習校の規定に基づき、指導教諭の指導によって行われますが、主に次のような内容が含まれます。			時間数	・ ガイダンス ・ 授業参観 ・ 授業実習（研究授業を含む） ・ 学級活動・ホームルーム活動等学級経営への参加 ・ 行事等への参加 ・ 教材研究・授業準備	時間数
その他				関連科目	